

次号予告

280 円 医学書院

総説／作業療法にのぞむもの……………三重県立高茶屋病院長 井上正吾
 特別企画／患者とセラピスト……………東大リハビリテーションセンター 上田敏, 他
 講座／ファシリテーション・テクニック(その5)……………東大リハセンター 上田敏, 他
 講座／理学療法における寒冷の応用治療について……………リハ学院講師 R. L. ナンリー
 講座／陶芸(その1)……………国立武蔵療養所 岡野久男
 カンファレンス／交通事故によるけが……………九労病院リハビリテーション部長 原武郎
 座談会／日本における OT 教育の現状と将来……………国立療養所東京病院長 砂原茂一, 他
 器具の使い方／滑車を用いての訓練……………福島医科大 山口二郎
 私の意見／理学療法士・作業療法士の業務独占について……………東京通信病院 池田政隆
 私の職場／鳥取県済生会境港病院……………鳥取県済生会境港病院理学診療科 大道進一
 研究と報告／われわれの考案した筋群力計……………厚生年金登別整形外科病院 秋元久実
 PT 協会ニュース, OT 協会ニュース

第2巻総目次

投稿規定

- 研究発表および自分の工夫の発表, 意見交換などの場所として投稿を歓迎いたします。
 「研究」は本誌3ページ(400字詰10枚, 図表5個, ただし写真は白黒にかぎります)以内。
 「私の工夫」: 800字以内。
 「話題」: 地方の会合・研究会などの報告・感想など。800字以内, 写真1葉まで。
 「質問」: 治療上・法律上の質問など解答者のご指名にも応じます。400字以内。
- 原稿は口語体, 現代かなづかいで, 表・写真・図を活用し, 平易簡潔にご執筆下さい。
- 掲載の採否は編集委員会で決定いたします。
- 掲載の場合は, 別冊50部および掲載誌を無料でさしあげます。または, 規定の原稿料をさしあげます。
- 原稿の宛先は
 東京都文京区本郷 5-29-11 (郵便番号113-91) 医学書院「理学療法と作業療法」編集室です。
- その他, 本誌でとりあげてほしい特集や論文・記事の企画および希望などについても上記編集室宛にお寄せ下さい。

編集後記

「成長に伴ういたみ」——巻頭論文で語られた J. ヒラタ氏のことばです。

外国語で, 適切なテキストも見出しえなかった時に, いろいろなハンディキャップに悩みながらも, ひとつひとつ学生の反応を確かめつつ教えてこられた氏にして, はじめて重みをもつことばとなっております。「生みの苦しみ」を日本人学生と共有してられました。

氏はまた「未来は明るい」とも語っておられます。指摘されている可能性の芽

を摘まないで育てていきたいものです。

次号では特別企画として「患者とセラピスト」というテーマで座談会を掲載することになりました。患者さんにも出席を願い, 医師・セラピストの皆さんにいろいろ話し合ってください。

なお, 今号は, つごうにより「器具の使い方」「ヨーロッパ PT 探検記」を休載しました。ご了承ください。

(担当=佐藤・上館・乾)

編集委員

砂原茂一
 国立療養所東京病院長

上田敏
 東京大学中尾内科

高橋勇
 整肢療園整形外科

保田良彦

池田政隆

駒沢治夫

日本理学療法士協会代表

鈴木明子

吉村澄江

日本作業療法士協会代表

編集顧問 (五十音順)

相沢豊三

秋元波留夫

天児民和

飯野三郎

大島良雄

勝木司馬之助

河邨文一郎

小池文英

児玉俊夫

杉山尚

椿忠雄

津山直一

水野祥太郎

編集同人 (五十音順)

浅野達雄

井上正吾

遠藤文雄

大塚欣壮

小野啓郎

佐久間穰爾

中村裕

浜島良知

原武郎

細川忠義

宮地昭郎

矢谷令子

米倉豊子